

## 精密スロッター

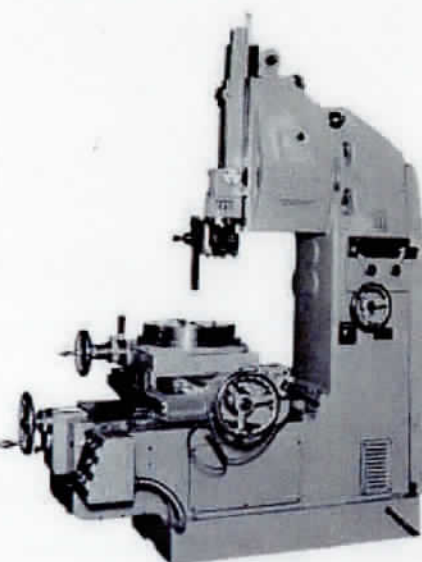
## SLP-150形 スロッター (自動送り装置付)

## 用途

本機はブリー・ギア・カップリング等のキー溝およびその他の溝、金型類の四角・六角等の多角形の勾配穴、丸形・角形その他の形状をもつ部品の外周の勾配切削および割出し切削に最適である。

## 特長

- ① バイトコラム間 455 mm テーブル前後移動量 320 mm あるため、特に大径の工作物も加工することができる。
- ② 各部に十分な剛性をもたせてあり、強力精密切削ができる。
- ③ ラムは左右へ各々 15° 傾斜し、刃物台は左右へ各々 90° 旋回するため勾配切削にたいへん便利である。
- ④ 当社独自のバイトリフト装置により、ラムの戻り行程中刃物は完全に削り面より後退するので刃物の損傷が少なく能率的である。
- ⑤ 付属品の割出し工具は容易に取付けられ、割出し切削もできる。
- ⑥ 各主要回転部には小型ポンプで強制注油されている。



SLP-150形

## 仕様

ラムの最大行程	150 mm
ラムの傾斜角度	15°
刃物取付面とコラムとの最大距離	455 mm
ラムガイドとテーブル上面までの最大距離	340 mm
テーブルの直径	350 mm
ラムの上下調整	230 mm
テーブルの溝幅および数	14 mm × 2 本
テーブルの左右移動距離	280 mm
テーブルの前後移動距離	330 mm

ストロークの変換数	4 段
最小最大ストローク数	50 ≈ 22, 36, 51, 90 r.p.m. 60 ≈ 26, 43, 61, 108 r.p.m.
送り量	0.8 mm 以下
モータ出力	2.2 kW
丸テーブル送り量	1°10' 以下
所要床面積	1,020 × 520 mm
重量	約 1,500 kg

## NS III形 スロッター

## 特長

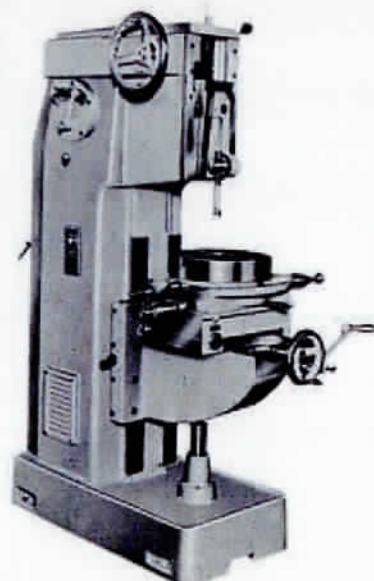
本機は、マシン・時計・弱電気・自動車などの部品、その他金型の切削加工に向くよう設計され、従来のスロッターに比べ内部機構の改良により形体の合理化、操作の改善に十分留意されている。構造の堅牢、工作の精密と併せて特に本機のバイト逃げ装置（実用新案）は故障の心配もなく、超硬工具を使用できるため切削作業が能率的かつ経済的に行なわれる。クラッチは多板式摩擦クラッチを、ブレーキは摩擦ストッパー併用式を採用しているため、作動は鋭敏確実で、バイトを任意の位置で停止することができる。

## 仕様

最大行程	150 mm
主軸回転数	50 ≈ 25, 39, 61, 96 60 ≈ 30, 47, 73, 115
ラムテーブル間	425 mm
バイトコラム間	260 mm
テーブル直径	280 mm

テーブル左右移動距離	145 mm
テーブル前後移動距離	175 mm
テーブル上下移動距離	425 mm
テーブル前後傾斜角	± 15°
モータ出力	1.5 kW
重量	770 kg

他に NSH-260 形 (ストローク 260 mm)、NS-II 形 (ストローク 125 mm)、NS-110 形 (ストローク 110 mm) を製作している。



NS III形

(株式会社 中防鑄造鉄工所)